

としょかん 100 周年

2018 年 12 月 1 日、鹿島市民図書館は 100 周年を迎えました。
昨年 4 月より募集していた図書館との思い出を紹介し
(応募は終了しました。たくさんのご応募ありがとうございました。)

私と図書館

～Vol.15(最終回)～

我が家の本棚には、嫁ぐ時に実家から持ってきたいくつかの本がならんでいる。あまり読む事もなく、あっという間に二十年余りを忙しく過ごしてしまったが、この数ヶ月、時間に少し余裕が出来たこともあり、その中の数冊を手に取り開いてみた。すると、ビックリする事が二つ。

一つは父の芥川龍之介の本の中から聖徳太子の一万円札が出てきたこと。父が挟んでいたのかと思うとおかしくもありうれしくもあった。

もう一つは父の十三回忌に東京に住む父の友人が寄せてくれた手記が見つかったこと。その中に

「終戦の混乱期、学制改革があり、その中、我々も新制高校へと進学した。当時、本は貴重品で、本に飢えていた二人は学校の帰りよく鹿島町立図書館へ行った。また、私の家には専用書庫に入った玉川児童百科事典や現代文学全集全六十巻、その他多くの親父の蔵書があったし、N(父のこと)の家には、亡き父上や学徒動員で戦没されたお兄さんの蔵書があったので貪るように読んだ。」という一節があった。

鹿島の昔の図書館と本を読む若い日の父を想像し、何か嬉しいような不思議な感動を覚えた。図書館に行く機会、そして本を開く時間を増やしたいという気持ちになる二つの思いがけない出来事だった。

(N 様)

☆ 基本的に原文のまま掲載していますが、個人名は伏せております。

開館カレンダー

□ …お休み

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

- 開館時間 ●
平日：9時30分～19時
土日祝：9時30分～17時
- おはなし会 ●
会場：館内おはなしの部屋
- あんころもち (0～3才)
火曜 14時～
- おはなし会 (3才～)
土曜 14時～
会場：ピオ4階子育て支援センター
- ♡ わ・わ・わぼっとでおはなし会
第2水曜 11時～
毎月 最終日曜

としょかん日記

『本を読むきっかけは…。』

娘が小学校を卒業します。ここまでの子育ては、今振り返るとあっという間でした。たくさん本を読んであげたいと強く思いつつも、日々の忙しさから、寝る前の読み聞かせなど、ほとんどできませんでした。とりあえず、図書館の本を持ち帰り、「これはこんな内容の本だよ」と言う位しかできず…。しかし、いつの頃からか、彼女が本を読んでは感想を言い、私におすすめるようになりました。その本を实际読むと、おもしろくてびっくりします。

本を読むきっかけは…手近に本があること、そして人におすすめることだなあと実感。さあ、図書館でも、本を読むきっかけを作ることができるよう、日々努力です！ (M)



今月のみんと

- 「ぷちぎやらりー」
展示作品募集中!
- 館長コラム
- 図書館をよびだして!!
- 心もほかほか!
冬の特大おはなし会 (報告)
- 付録プレゼントクイズの
当選者を発表します♪
- 私と図書館 Vol. 15

鹿島市民図書館

一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp

Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217

2019年2月25日発行



図書館に作品を展示しませんか? 「ぷちぎやらりー」展示作品募集中!



図書館内の小さなガラスケースに並び素敵な手作り作品…。みなさんも趣味の手仕事作品を気軽に展示してみませんか?
詳しくは、図書館までお尋ねください♪

「ジュール・ヴェルヌ」

今から 150 年ほど前の 1864 年、我が国では池田屋事件や禁門の変が起こり、まさに明治維新前夜の物情騒然としていた頃です。この年、フランスで「地底旅行」という SF 冒険小説が発表されました。著者は SF の父と称されるジュール・ヴェルヌ。「八十日間世界一周」、「海底二万里」、「十五少年漂流記」など、代表作を聞けば誰も思い出す作家ではないでしょうか。ヴェルヌの作品は世界中で愛され、一説では最も多くの国で翻訳された作家の一人だそうです。

さて、「地底旅行」ですが、主人公は鉱物学者のオットー・リーデンプロック教授。古文書に記された暗号を解読した結果、アイスランドの火山から地底に降りていく道があることを発見します。教授は甥っ子と現地ガイドの 3 人で地底の探検旅行に出発します。途中、数々の困難に遭遇しますが、最後は恐竜などの古代生物が生活する地下世界を発見するという話です。この「地底旅行」を約半世紀ぶりに読み返したところ、正直驚かされました。と言うのも、最初は子どもの読み物程度に考えて読んでいたのですが、記述されている科学情報が極めて正確だったからです。例えば、地球の半径を 6332km、空気中の音速を毎秒 340m、地中の温度が 30m 下降する毎に 1℃上昇など、現在とほとんど同じ数値が記されているのです。当時、我が国は武士が腰に刀を差しチョンマゲを結ってた江戸時代です。西欧の科学がいかに進んでいたかを思い知らされました。

「地底旅行」を発表した翌年の 1865 年、ヴェルヌは「月世界旅行」を発表します。巨大な大砲で人を月へ送るといった奇想天外な物語です。後にアポロ計画などの宇宙開発に従事した科学者の多くがこの物語に触発されて宇宙を目指したと言います。ちなみに、映画『バック・トゥーザ・フューチャー』に出てくる発明家ドクこと、ドクター・ブラウンもジュール・ヴェルヌの大ファンであり、二人の息子にジュールとヴェルヌという名前を付けているそうですよ。ヴェルヌの作品は子どもも大人も楽しめます。どうぞ図書館でご利用ください!

図書館長 前田英明

図書館をとびだして！！

アウトリーチ事業紹介① 出張貸出 in 鹿島市役所市民ホール



毎月第1・3金曜日 12時～13時に鹿島市役所1階市民ホールで出張貸出を行っています。市役所職員のみなさんはもちろん市民のみなさんの利用も大歓迎！図書館からスタッフおすすめの本や雑誌を100冊準備しています。貸出・返却の他にカード作成もできます！鹿島市民図書館のほりが目印です。

鹿島市民図書館では、市内の色々な施設に伺って、アウトリーチ事業を行っています。その活動の一部を紹介します☆

アウトリーチ事業紹介② わ・わ・わぽっとでおはなし会



毎月第2水曜・最終日曜 11時～ショッピングセンターピオ4階子育て支援センターで、出張おはなし会「わ・わ・わぽっとでおはなし会」を行っています。おすすめの絵本をスーツケースに詰め込んで、スタッフ2人で出かけます。もちろんここでも貸出・返却ができますよ！子育て支援センターのカウンターに返却ボックス（※）もありますよ♪

※子育て支援センター内で借りた本のみ返却可能です

アウトリーチとは…

公的機関や公共的文化施設などが行う地域への出張サービスの事です。

心もぽかぽか！冬の特大大おはなし会（報告）

2019.2.2 保健センター内 いきいきルーム

2月2日(土)14時～15時半 エイブル1階いきいきルームにおいて、「冬の特大大おはなし会」を行いました。おはなしあり、マジックあり、工作ありと、もりだくさんの内容でみんな楽しんでくれました。



パネルシアター



絵本読み語り



マジック

図書館スタッフも作ったよ！



←オリジナルぼうしのできあがり！



出演のボランティアはばたきの会さんと吉牟田さん、子ども図書館サポーターたち

アウトリーチ事業紹介③ おはなしとどけ隊



図書館から小学校におはなしをお届けします！今年度は、11月に古枝小学校と能古見小学校を訪問しました♪昼休みとあって会場はたくさんのお子様たちでいっぱい☆子どもたちと実際に触れ合える時間はとても貴重です。キラキラ輝く瞳に元気をもらっています。

♪ 付録プレゼントクイズの当選者を発表します♪

当選者発表 3月2日(土)
図書館内にペンネームを掲示

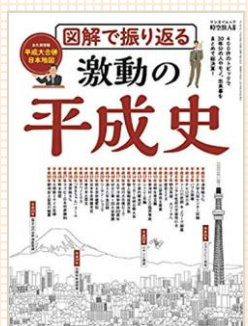
プレゼント受け取り期間
3月2日(土)～3月27日(水)まで

2月に開催したプレゼントクイズでは、たくさんのご応募ありがとうございました！

当選された方は、期間内にプレゼントを取りに来てくださいね♪

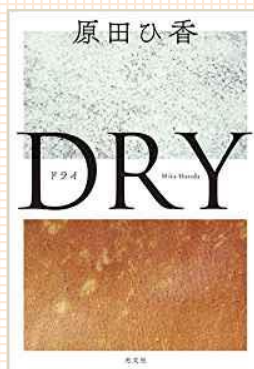
新しく届いた本

『図解で振り返る激動の平成史』



三栄書房
バブル崩壊、個人情報保護法の成立、東日本大震災…。"激動"だった平成30年間の重要トピックを、図解でわかりやすく解説します。

『DRY』



原田 ひ香：著
光文社
不倫の果てに離婚し実家に戻った主人公。そこにはうら寂しく暮らす母と祖母。隣には幼馴染の美代子が祖父を介護し、親孝行とあがめられている。しかし彼女には、おぞましい秘密があった。

『そして旅にいる』



加藤 千恵：著
幻冬舎
失恋したことを忘れさせてくれた香港の喧噪。大好きな人の「神様」を見に出かけた大阪ひとり旅。婚約破棄した姉が誘ってきた北海道旅行…。人生の節目に、旅はそっと寄り添ってくれる。恋愛小説の名手による旅小説。

『医者が教える非まじめ老後のすすめ』



大塚 宣夫：著
PHP 研究所
健康、夫婦、家族、お金、そして人生の最期のこと…。歳をとったら、ちょっと手を抜いてまじめをやめたほうが、すべてうまくいく！老後を豊かに過ごすために知っておきたい“非まじめに生きる”30のヒント。

『かんたん！はじめて園児のかわいいおべんとう』



阪下 千恵：著
学研プラス
「残さず食べさせたい」「かわいく作りたい」「時間がなくて忙しい」…そんなおべんとう作りの気になるポイントを写真つきで詳しく解説。作りおきできるおかずも多数紹介。